



# 学生生活 Campus SEIJO

新入生歓迎特集号

No.206



## CONTENTS

学長挨拶	2~3		
学部長からのメッセージ	4~7	文化部連合	16~17
フレッシュマンガイダンス	8~10	バリエーション豊富な文連です。	
成城大学学友会へようこそ	11	くらぶ通信—スポットライト—	18
学部部会執行部紹介	12~13	厚生部 / 馬術部	
		黎明 (めーあ・りひと)	19~20
体育部連合会	14~15	Campus Seijo Information	21~24
		編集後記	24

スポーツしようよ!



## 思考形成と自己表現

学長 我妻 建治

四月は、大学正門前のいちょう並木の緑や、第一グラウンド脇の桜並木がもっとも美しい季節である。本学の伝統と学風を継承する若い諸君の入学を心から歓迎したい。

大学時代は、時間に拘束されることなく、また明日のことを思い煩うことなく自由な生活が過ごせる、人生における貴重な時期である。この貴重な大学時代をスタートするにあたって、ぜひ考えてもらいたいことがいくつかある。

一つは、自分の考えを持つことである。国内関係、国際関係を問わずコミュニケーションの手段が発達かつ多様化し、その総量が急増している現代において、周囲の出来事と自分との関係を客観的に把握することは、学問の基礎にもつながる重要なステップである。感情や印象を主張することは比較的容易であるが、自分の感情を交えずに自分と周囲の社会との関係を整理することが肝要となる。様々な情報を把握し、その分析を通じて、あるいは自分の関心を持つ分野を大切に広く深く、そしてゆっくりと知的姿勢を続けることによって、自分の考えがかたまっていくように思われる。自分の考えを持ち、それを他人に理解してもらうためには、どうしても時間とエネルギーがかかる。これはやむをえない。ところがこのエネルギーを節約して、各人の思考形成を手軽にすませようとする傾向が強まっている。解説、解釈、マニュアルの類である。本文を読むまでもなく解説が先行し、美術館に行けば解説パンフレットと首引きになり、ガイドブックに基づいて旅行が組み立てられる。ほとんどあらゆる事柄について解説書が氾濫する。解説書は自分の思考形成において確かに必要ではある。しかしそれらを鵜呑みにすると、解説者の見方や考え方だけで、物事を見たり判断したりすることになる。考えているつもりで、実際には思考停止や思考誘導が行われている。さらにすすむと解説者の見解を自分の考えと錯覚し、それ以外の考え方に拒否反

応を示すようにさえなる。本末の転倒である。やはり、どうしても自分の考えを持つように絶えず努力することが必要である。

次には、自己表現能力を高めることである。自分の考えを持つことは重要ではあるが、それが説得力をもって相手側につたわっていくことによって初めて実効性をもってくる。近年、大学の授業や演習において、教員側からの講義や質問に対して、学生側からの反応が少なくなってきた。教室での対話がなかなか成立せず、一方的講義の比重が高まりつつあることが懸念される。人前で発言したくない、目立ちたくないといった風潮をぜひ改めて、大学では自分も積極的に授業や演習に参加するという姿勢を示してもらいたい。大学時代に自己主張をしなかった、あるいは出来なかった人が、社会人になって、にわか自己主張能力が高まるわけではない。また、日本語でうまく自己表現出来なかった人が、英語等の外国語を使って国際的な場で、自己主張出来ることも期待できるわけではない。相手と議論し、自分の考えのメリット、デメリットを確かめ、さらにそれを発展させていくというプロセスの繰り返しが大切である。そのためには、多少の苦痛を伴う場合があるかもしれないが、日常的に意識して書くこと、話すことを中心とした自分の表現能力を高めるために努力することが必要である。

大学時代の4年間は、長いようで実はかなり短い期間である。いたずらに時を過ごすことなく、真に充実した大学生活を過ごされることを切に期待する。

# 学部長からのメッセージ



## 知識から知恵へ

経済学部長 明石 茂生

新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんはこれから4年間大学生活を送ることになります。とりわけ経済学部に入学された皆さんは、経済学部という経済・経営に関わる高等教育を提供するセクションで4年間過ごすことになります。大学は、専門教育の機関であるとともに、社会人となるための心の準備をおこなう場でもあります。将来どのように生きるかの選択をする際に、経済学部で4年間身を置いたという経験は、きっと少なからぬ影響を皆さんにあたえるものと信じています。

学部に入るにあたって、おそらく経済とは何かという素朴な質問を抱いているかと思います。その回答にはいくつかあると思いますが、私は単純に、経済とはもの一般の生産、流通、消費のありさまを表したものだと思っています。そこにはいたるところ、売りと買いの場(市場)があって、さまざまな人々が介在して、ネットワークが張られています。ところが、売りと買いを結び付けるネットワークが地球規模になってきますと、互いに直接接触することのない人々も市場を通して影響を与えあうことになります。地球の裏側の事件が巡り巡って日本の株式市場や商品取引市場に影響を与えることはよく耳にすることです。この意味で「風が吹けば桶屋が儲かる」の譬えは、あながちあてにならないものとはいえないのです。人々が空間的にも時間的にもお互い関係し合っていることが、経済学部で学んでいくうちに、きっとわかってくるかと思います。

ところで皆さんが入学し卒業する間に、日本経済は人口増加から人口減少に転じると予想されています。出生率が劇的に改善されてもしない限り、人口減少は趨勢として長期間続くというのです。つまり、皆さんが社会人として活躍する時期は、成長率が上がりにくい、いままでの常識とは全く異なる世界になっているのです。人口が増加する右肩上がりの世界では、先送りをしても自然に解決される可能性がありましたが、人口減少経済での先送りは、ものごとの更なる悪化を意味することになります。先送りをせず果敢に処理することが求められ、それだけ大人の知恵が必要となるのです。

皆さんが先輩の方々とは異なる、ある意味でもっと厳しい世界で活躍せざるを得ないことは、どうも避けられないようです。それだからこそ、経済というもっとも身近に接する世界で、何ができて何ができないのか、なにをすべきかがわからなければなりませんし、問題解決のために挑戦しなければなりません。経済学部で学んだ知識は、時とともに知恵となって、この問題解決に役に立ってくるはずですが、皆さんが経済学部で有意義に過ごされることを心から祈っております。

## 入学おめでとう

文芸学部長 戸部 順一



昨年公開された映画『トロイ』を見ましたか。トロイ戦争を舞台に英雄アキレウスの活躍を大画面上に活写した話題作でした。この映画の原作は『イリアス』。皆さんが学んだ世界史の教科書にも登場するギリシアの叙事詩人ホメロスの作品です。だいぶ原作とは異なった箇所が目につく映画でしたが、それでも主人公アキレウスの英雄らしい振る舞いに感動した人も多かったかと思います。ところで、ホメロスと同じ時代に活躍したとされる叙事詩人のヘシオドスは、アキレウスのような英雄がその名に相応しい行為に向かう理由を、恥（アイドース）と咎め（ネメシス）の女神がいたから、すなわち、誤った行為を恥じる気持ちと、周囲の眼差しを恐れる気持ちが、英雄として歩むべき道からの逸脱を防いでいたのだ、と説いています。そして、それに加えて英雄時代はもはや過去のものとなり、今の時代には（これを「鉄の時代」と呼んでいます）アイドースの女神もネメシスの女神も地上から去ってしまった、と嘆いています。「鉄の時代」のことが予言めいた口調で語られているところから想像するに、ヘシオドスからすれば遠い未来にあたる21世紀の現在も、この「鉄の時代」に含まれる、と言えるでしょう。

前置きが長くなりすぎて、肝心なことを言うのを忘れるところでした。ご入学おめでとう（本当は忘れてなんかいません。私たちは皆さんの入学を心から歓迎しているのですから）。さて、大学の4年間は、長い人生からすればほんの一瞬かもしれません。しかし、これからの人生の歩み方を身につける期間である以上、どの4年間よりも貴重な瞬間だと申せましょう。そこで入学した皆さんが文芸学部で身につけてほしいことについて一言。文芸学部は6学科から構成されており、それぞれの学科がそれぞれの専門領域に関する知識、研究の仕方を教授しています。皆さんはどれかの学科を選択し、その学科所属の学生としてわが大学に通うことになったわけですが、いずれかの学科を選択したからには、ある学問領域の知見を深めたい、という固い決意があつてのことと思います。勿論、一つのことには邁進し、それを究めることは文句のつけようのない立派なことです。でも、折角6つの学科があるのですから、他の学科の授業にも参加して、異なるものの見方、研究の仕方を学んでください。いろいろなものの見方は皆さんが学ぼうとしている専門分野の理解をより深めてくれるはずですし、識見が狭隘なままであるのを防いでくれるでしょう。そして4年後には多様な思考と複合的な創造能力を身につけ、それらを基盤とした批判精神を持って社会に出て行ってもらいたいです。「現在は混迷の時代だ」とよく言われますが、だからといって一緒になって生きることに迷う必要はない。たとえアイドースとネメシスが地上を去ろうとも、己を律する規範を自己の内に築き、英雄のようにとは言わないが、誰からも非難されないような正しい判断を下しながら、人生を歩いていって欲しいのです。そのための基礎をこの4年間に履修してもらいたいものと、心から願っております。

私たち教員は3月、4月に「おめでとう」を口にするのが慣わしです。「卒業おめでとう」「入学おめでとう」しかし「おめでとう」に込められた気持ちは大いに異なります。4月の「おめでとう」は、皆さんをこれからの4年間で一人前（ここで言う一人前とは、私が前の段落で述べたような人間を意味します）にしなれば、という責任感を含み、実を言うと少々憂鬱な響きを持っています。3月のそれは、その責任を全うした満足感からか、明るい響きを持っているはずですが。4年後の3月に「おめでとう」と声をかけるとき、明るい響きが皆さんにも聞こえるよう、努力を惜しまないことを誓いながら、いま一度「入学おめでとう」

# 学部長からのメッセージ



## 新しい『仲間』を迎えて

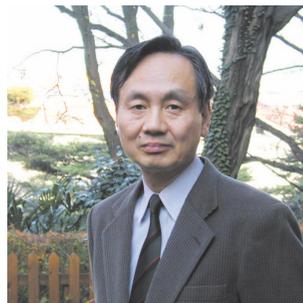
法学部長 今野 裕之

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。みなさんも今日から晴れて成城大学法学部の一員、『仲間』となった訳です。みなさんを『仲間』と申し上げたのは、単に教育サービスの受け手という意味ではありません。このことは、大学の成り立ちを考えれば、すぐに理解できることでしょう。大学を表すユニバーシティという言葉は、教授と学生の組合を意味する Universitas Magistrorum et Scholarumから発生したものであり、カレッジというのは、寄宿舎で自治的集団生活をするという意味のCollegeから出たものです。つまり、大学とは教授と学生を構成員とする学問追求の場なのであり、みなさんとわたしたちは学問をする『仲間』ということになります。教授と学生が集い、教授と教授、教授と学生、学生と学生が学問を通じてぶつかり合う場、それが大学です。

こうしたぶつかり合いの場としての大学は、単に知識や情報を増やすことを目的とする訳ではありませんし、技能を修得することを目的とする訳でもないことは明らかでしょう。大学では、むしろ既存の知識を始めあらゆること（教授の言うこともですよ）をまずは疑うことが出発点となります。そして、自ら考え、意見を述べるなり結論を出すことが求められます。みなさんは、批判的精神に満ちた一つの独立した人格として大学に存在するのです。したがって、大学においては、高校までのように先生の指示をまって勉強するという事はもうありません。自ら主体的、自発的、能動的に行動することが必要となります。大学は、みなさんの勉学のためのメニューをカリキュラムとして用意していますが、それは決して出来上がった料理を給食の形でみなさんの口まで運んでくれるようなものではなく、いわば食材の形でみなさんに提供されているものです。どのような食材を選びどう調理して食べるかは、すべてみなさん自身が決めなければなりません。教授は、学問の先輩として、とりあえずどこにどのような食材があるか、どのような調理方法があるかを教えますが、究極的には共に考える『仲間』であり、議論の好敵手なのです。

このような本来の大学の姿を授業のうえで実現しているものとして、ゼミナール（演習）があります。ゼミナールにおいては、学生の報告に対する学生同士の質疑応答や討論を中心に授業が進められ、その際、教授の役目は、議論の進行役を務めることおよび報告者や質問者の知識の不足を補うことにありますが、やがて教授自身も議論に参加していきます。専門的な高度の知識と思考力を身につけた教授との知的バトルこそがゼミナールの醍醐味といえましょう。初めは連戦連敗かもしれません。でも、乏しい知識でもそれを柔軟に駆使して議論していきましょう。足りない知識は教授が補ってくれるでしょう。それを踏まえてまた議論して下さい。数年後、みなさんは、教授を相手に堂々と論陣を張る自分に気がつくことでしょう。『仲間』であるわたしたちは皆、その日を楽しみに待っています。

## 新しいスタート、 そしてイノベーション



### 社会イノベーション学部長 村本 孜

新学部の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。まさに、新しいスタートです。社会イノベーション学部の第1期生となられた皆さんは、成城大学の新しい組織のスタートを教職員とともに切ることになったわけです。学生・教員・職員が三位一体となって、新しい文化と息吹を成城大学に吹き込みましょう。新学部の文化を創るのは皆さんですし、成城大学をイノベートするのも皆さんの役割です。大いに期待しています。

既に、ホームページや学部案内で見られると思いますが、社会イノベーション学部は、日本で初めての学部です。最近、ビジネススクールやMOT（技術経営）の大学院が出来て、イノベーションを研究科名に付けた大学院が出来てきましたが、学部ではまだありません。

日本が、世界のフロントランナーに躍り出て20年余。それまでのキャッチアップ型の経済システムは、大成功したといえます。日本型経営という終身雇用、年功賃金、企業内組合という仕組みも成功を支えました。しかし、この日本型経営が機能不全になって久しいことに明らかなように、キャッチアップ型経済システムの部品は、フロントランナー型経済システムには合わなくなっているのです。金融機関の不良債権問題などはその顕著な現れといってもよいでしょう。

そこで、日本を支えた種々の構造やその文化的側面、そしてその担い手である個人個人の物の見方・考え方をイノベートしていくことが求められているのです。この新しい取組みを学問の対象として捉えるのが社会イノベーション学部のコンセプトですが、学部教育そのものもイノベートしようというのが、新学部の狙いです。無論、大学ですから一定のルールはありますが、最低3つの言語をマスターして欲しいという願があります。1つは、国際共通語としての使える英語、2つめに社会的ツールである情報技術（IT）、3つめに日本語（読み書きに加えて情報発信のプレゼンテーション能力としての日本語）です。その3つ言語の上に専門知識をがっちり構築して欲しいのです。

皆さんは、これまでどちらかといえば受け身の学習であったと思います。これからは、自分で積極的に取り組み、身に着けることができる学習となります。それを可能にするカリキュラムを用意しました。是非、積極的に関わって欲しいと思います。

社会をイノベートするにはまず自分をイノベートすることが必要になります。これまでの発想を変えて下さい。そして、一歩踏み出して下さい。先生の研究室を訪ねて下さい。オフィスアワーを活用すれば、アポなしで先生と話ができます。

新しい成城大学の文化を一緒に創っていきましょう。



# フレッシュマン・ガイダンス

新入生の皆さんが開講後、授業や課外活動において充実したキャンパスライフを送れるよう、入学式～4月9日の間以下のガイダンス等を集中的に行います。自分の予定を確認し、必ず参加して下さい。

経済学部					
A～F組：経済学科		G～L組：経営学科			
月日(曜)	ガイダンス等の名称	組等	時間	場所	備考：持参物
4月5日(火)	入学式	全体	10:00～11:30	五十周年記念講堂	
	クラスガイダンス(学生証配付)		入学式終了後	各教室(案内します)	筆
4月6日(水)	学部長挨拶 教務部・国際交流ガイダンス	A～F組	9:20集合	7号館007教室	履・シ・時・筆
	相談コーナー		11:20～12:20	731・732教室	
	新入生歓迎パーティー		12:45～14:00	7号館学生ラウンジ	軽食あり
	休日	G～L組			
4月7日(木)	図書館ガイダンス	A B C組	12:30～14:00	図書館	
		D E F組	14:00～15:30		
	学部長挨拶 教務部・国際交流ガイダンス	G～L組	9:20集合	7号館007教室	履・シ・時・筆
	相談コーナー		11:20～12:20	731・732教室	
	新入生歓迎パーティー		12:45～14:00	7号館学生ラウンジ	軽食あり
	学生主催オリエンテーション	全体	16:00～18:00	2号館002教室	
4月8日(金)	インターネット講習会	全体	12:30～13:30	7号館007教室	筆
	図書館ガイダンス	G H I組	14:00～15:30	図書館	
		J K L組	15:30～17:00		
4月9日(土)	学生部ガイダンス	A～F組	11:30～14:00	7号館007教室	パ・筆
		G～L組	11:30～14:00	3号館003教室	パ・筆

文芸学部						
A組：国文学科		B組：英文学科	C組：芸術学科	D組：文化史学科	E組：コミュニケーション学科	F組：3-0カ°文化学科
月日(曜)	ガイダンス等の名称	組等	時間	場所	備考：持参物	
4月5日(火)	入学式	全体	14:00～15:30	五十周年記念講堂		
	クラスガイダンス(学生証配付)		入学式終了後	各教室(案内します)	筆	
4月6日(水)	フレッシュマン・キャンプ (教務部・学生部ガイダンス含む)	A B D組	大学中庭 9:00集合	富士ビューホテル (河口湖)	パ・履・シ・時・筆	
	休日	C E F組				
4月7日(木)	フレッシュマン・キャンプ (教務部・学生部ガイダンス含む)	C E F組	大学中庭 9:00集合	富士ビューホテル (河口湖)	パ・履・シ・時・筆	
	フレッシュマンキャンプより帰着	A B D組	16:30(予定)			
4月8日(金)	図書館ガイダンス	A組	9:30～11:00	図書館		
		B組	11:00～12:30			
	D組	12:30～14:00				
	フレッシュマンキャンプより帰着	C E F組	16:30(予定)			
4月9日(土)	図書館ガイダンス	C組	9:00～10:30	図書館		
		E組	10:30～12:00			
		F組	12:00～13:30			
	インターネット講習会	全体	14:15～15:15	7号館007教室	筆	
	学生主催オリエンテーション	全体	15:30～17:30	2号館002教室		

履：『履修の手引』 シ：『シラバス』 時：『授業時間割表』  
 パ：『パンフレット成城』 筆：筆記用具

## 法学部

月日(曜)	ガイダンス等の名称	組等	時間	場所	備考:持参物
4月5日(火)	入学式	全体	10:00~11:30	五十周年記念講堂	
	クラスガイダンス(学生証配付)		入学式終了後	各教室(案内します)	筆
4月6日(水)	法学部ガイダンス	全体	10:00~12:00	3号館003教室	履・シ・時・筆
	教務部・国際交流ガイダンス		13:00~15:30	3号館003教室	履・シ・時・筆
	学生主催オリエンテーション		16:00~18:00	2号館002教室	
4月7日(木)	図書館ガイダンス	A B組	9:30~11:00	図書館	
		C D組	11:00~12:30		
	法学部ガイダンス	全体	13:00~15:00	7号館007教室	履・シ・時・筆
	相談コーナー		15:10~16:10	5号館	
新入生歓迎パーティー	16:30~18:00		7号館学生ラウンジ	軽食あり	
4月8日(金)	インターネット講習会	全体	13:30~14:30	3号館003教室	筆
4月9日(土)	学生部ガイダンス	全体	9:00~11:00	7号館007教室	パ・筆
	図書館ガイダンス	E F組	13:30~15:00	図書館	
		G H組	15:00~16:30		

## 社会イノベーション学部

A~E組:政策イノベーション学科 F~J組:心理社会学科

月日(曜)	ガイダンス等の名称	組等	時間	場所	備考:持参物
4月5日(火)	入学式	全体	14:00~15:30	五十周年記念講堂	
	クラスガイダンス(学生証配付)		入学式終了後	各教室(案内します)	筆
4月6日(水)	図書館ガイダンス	A B組	9:30~11:00	図書館	
		C D E組	11:00~12:30		
	インターネット講習会	全体	13:30~14:30	7号館007教室	筆
	図書館ガイダンス	F G H組	15:00~16:30	図書館	
		I J組	16:30~18:00		
4月7日(木)	教務部・国際交流ガイダンス	全体	13:30~16:00	3号館003教室	履・シ・時・筆
4月8日(金)	学部長挨拶・学部ガイダンス	全体	10:30~12:00	7号館007教室	履・シ・時・筆
	新入生歓迎パーティー		12:00~13:30	7号館学生ラウンジ	軽食あり
	相談コーナー		13:45~14:45	7号館723~726教室	
	学生主催オリエンテーション		15:00~17:00	2号館002教室	
4月9日(土)	学生部ガイダンス	全体	9:00~11:00	3号館003教室	パ・筆

## 文体連オリエンテーション

(本誌14~17頁参照)

日時…4月14日(木) 16:30~

場所…五十周年記念講堂

## 学生主催オリエンテーションとは、

(本誌11~13頁参照)

学友会の各学部執行部会が主催し、新入生の皆さんに各学部の学生生活を案内するものです。(社会イノベーション学部は学友会が主催します)



# フレッシュマン・ガイダンス

履：『履修の手引』 シ：『シラバス』 時：『授業時間割表』  
 パ：『パンフレット成城』 筆：筆記用具

短期大学部 専攻科				
月日(曜)	ガイダンス等の名称	時間	場所	備考：持参物
4月5日(火)	入学式	16:00~17:30	7号館007教室	
	クラスガイダンス(学生証配付)	入学式終了後	7号館007教室	筆
4月6日(水)	休日			
4月7日(木)	教務部ガイダンス	13:00~13:30	7号館723教室	履・シ・時・筆
	図書館ガイダンス	14:00~15:30	図書館	
4月8日(金)	フレッシュマンキャンプ	12:30現地集合	富士屋ホテル(箱根宮の下)	履・シ・時・筆
4月9日(土)	フレッシュマンキャンプ	10:00現地解散	富士屋ホテル(箱根宮の下)	

大学院 経済学研究科・文学研究科・法学研究科					
月日(曜)	ガイダンス等の名称	時間	場所	備考：持参物	
4月5日(火)	入学式	10:00~11:30	五十周年記念講堂		
	教務部・学生部ガイダンス	11:30~12:30	法人事務局棟3階大会議室	履・シ・時・筆	
	インターネット講習会	14:00~15:00	7号館721教室	筆	
	各研究科ガイダンス および 図書館ガイダンス	経済学研究科	15:30~17:30	3号館会議室	履・シ・時・筆
		文学研究科	15:30~17:30	法人事務局棟3階大会議室	履・シ・時・筆
	法学研究科	15:30~17:30	53A教室	履・シ・時・筆	

## 前期授業開始 4月11日(月)

開講から履修登録を済ませるまでは、履修を希望する授業に自由に出席することができます。  
 ただし、必修科目の授業については第1回目から出席してください。

## 新入生の保護者の皆様へ(学生の安全のために)

### 電話呼び出し・照会について

保護者・友人から電話による学生呼び出しを依頼される場合があります。本学では学生の安全のために、電話の取り次ぎや学内放送での呼び出しは行いません。

また、学外から学生の住所・電話番号等、個人情報に関する問い合わせにもプライバシー保護のため一切応じていません。あらかじめご承知おきください。

### 振り込め詐欺などの対応について

電話による「架空誘拐」等、銀行口座へ現金を振り込ませる「振り込め詐欺」が多発しており、本学でも多くの問い合わせを受けております。

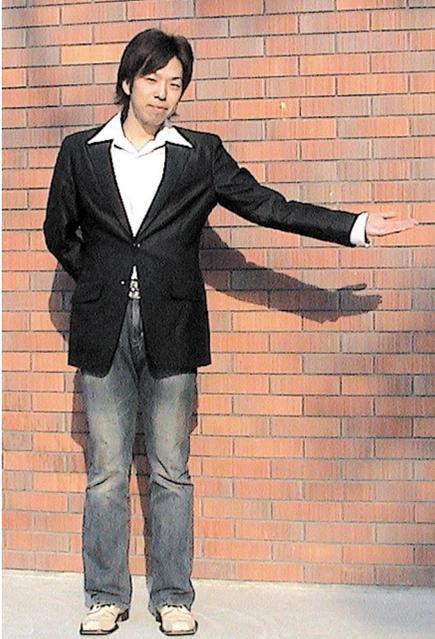
相談は、学生部で受け付けますが、各ご家庭においても落ち着いた対応をお願いするとともに、自宅・自宅外の居住にかかわらず、緊急時の連絡の取り方を確認しておいてください。

### 自宅外に下宿する場合

お様が自宅外に下宿する場合は、日頃から連絡を取りやすい環境を作り、生活状況をよく把握していただきたいと思います。

# 《総務会》

## 成城大学学友会へようこそ



総務会議長兼法学部部会執行委員会総務  
宗田 祐輝 (法3)

まず、高校でいう生徒会長にあたる  
成城大学総務会議長の宗田君に、学友会とは何かということ  
を新入生に説明してもらいたいのだけど…。

そうですね、まず学友会を構成する学友会員とは誰か？という  
と、成城大学に在籍しているすべての学生（大学院生は除きます）が、  
学友会員なんです。ですから、みなさんが成城大学に入学し、成城  
大学の学生になったその瞬間から、学友会員になっているわけなん  
ですよ。

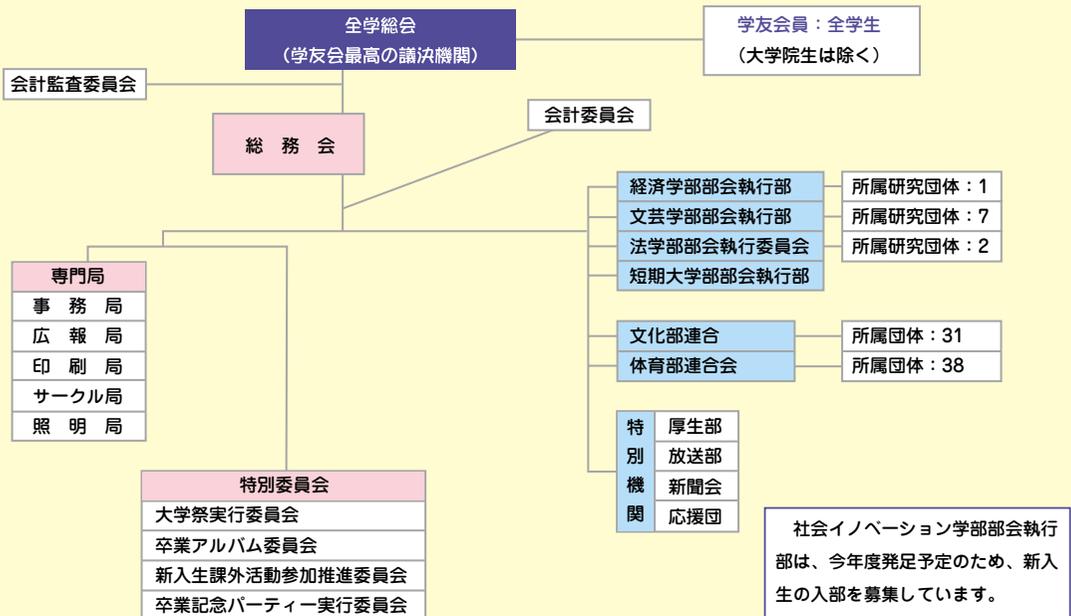
それで学友会とは何か、何を目的に活動しているのかという  
と、われわれ学生が、自主的に行う各種の課外活動を送る上で、生じて  
くる様々な問題を拾い上げ、解決し、また、学生の利益と親睦をは  
かって、大学生活を充実した居心地の良いものとするための組織、  
つまり、学生の学生による学生のための組織が学友会なんです。

下図を見てくださるとわかると思うんですが、学友会最高の議決  
機関は全学総会なんです、学友会各機関の統括、全学総会の開催、  
全学友会員が納入している学友会費の資産管理の責任を負って中心  
となって活動しているのが、総務会です。

総務会は、経済学部部会、文芸学部部会、法学部部会、短期大学  
部部会、文化部連合、体育部連合会の各代表（総務または委員長）、  
と各副代表（副総務または副委員長）から構成されています。

みなさんの声や力を集めていきたいと思っておりますので、積極的  
に課外活動に参加していただければと思います。

### 成城大学学友会組織図



## 《総務会》

# 学部部会執行部紹介

そもそも学部部会執行部って何でしょう？  
どうやったら執行部に入れるのでしょうか？  
どうしてみんなは入ろうと思ったのですか？

**宗田** 矢継ぎ早の質問ですね。

まず、「学部部会」を簡単に説明すると、各学部ごとの自治組織です。経済学部なら経済学部の学生のための、文芸学部なら文芸学部の学生のための、法学部なら…、短期大学部なら…、というように、学部ごとの独自の自治組織です。そして、構成員は所属している学部の全学生ということになります。

その各学部部会「執行部」、あ、法学部会は「執行委員会」というんですけど、は、その構成員なら誰でもなれます。なれるというより、その学部の学生であれば、誰でも入れると行った方がわかりやすいかな。各執行部・執行委員会は、部員を募集して活動しているんです。

どんな活動をしているのか？ どうして入ったのか？は、みんなに語ってほしいと思います。よろしく！

**加藤** 経済学部部会執行部総務の加藤です。宗田君が言ってくれたように、「ケイシツ」では、あ、経済学部部会執行部を略して「ケイシツ」といいます。ついでに言ってしまうと、文芸学部部会執行部を「ブンシツ」、法学部部会執行委員会を「ハウシツ」、短期大学部部会執行部を「タンシツ」と略して呼びます。

**全員** (うなずく)

**加藤** それで、もとに戻ると、「ケイシツ」では、経済学部の全学生のみみなさんが楽しく有意義な学生生活を送れるように、日々、一生懸命考え、様々な活動を行っています。でも、目的は、どこの部会も同じだと思う。

**宗田** そうだね。

**加藤** 「学部オリエンテーション」だって、各部会ごとに工夫は凝らしているけど、目的は同じよね。

**中野** そうね、自分の学部の新入生に、大学生活や成城大学の雰囲気や、在学生の視点で紹介し、大学生活のスタートを順調にされるように、というイベントだものね。一番最初は、どこだっけ？ きちっと日程を伝えようよ。

**宗田** うちだ。「法学部学生オリエンテーション」は4月6日(水)16時～18時で、場所は2号館002教室です。

**加藤** 「経済学部学生オリエンテーション」は4月7日(木)16時～18時で、場所は同じ2号館002教室で行います。

**宗田** 4月8日(金)15時～17時に行う「社会イノベーション学部学生オリエンテーション」は、まだ執行部がないので、「ハウシツ」の三浦君を中心に、イベントを企画しています。場所は同じです。

**中野** うちの、フレッシュマン・キャンプがあるから最後で、4月9日(土)15時半～17時半に、「文芸学部学生オリエンテーション」を行います。場所は同じく2号館002教室です。

**全員** 各学部とも「学生オリエンテーション」をお見逃しなく！ 絶対来て下さいね！

**加藤** それで、それ以外に、「ケイシツ」では、日頃のゼミナールの研究成果を発表するとともに1年生へゼミナール選択のための情報を提供するゼミナール大会、著名な方を招いての講演会などのイベントの企画・運営もします。

**宗田** 講演会は、どこの部会でも、一般学生に学友会費を還元するための大きな目玉行事といえると思う。様々なジャンルから講演者を選び、出演交渉や広報活動をするといったイベントの企画・運営は、ライブなので想定外のことが起こったり、緊張が走ることもあるけれども、終わった後の達成感っていったら…、

**全員** やめられません。



**西河** 僕は、去年の「文芸学部オリエンテーション」を見て、これしかない！と思って、「ブンシツ」の扉をたたきました。もともと「縁の下の力持ち」っていうのがタイプなんです。

(写真左：文芸学部部会執行部副総務)

**中野** 私は、新入生の時から「ブンシツ」に入ったわけではないんです。最初は存在を知らなくて…。友達が先に入っていて、「ブンシツ」の部屋に来るようになり、高校の時とかも生徒会をやっていたので、なんかいいなぁと思って入りました。今は、とっても充実しています。

(写真右：文芸学部部会執行部副総務兼総務会副議長)



経済学部部会執行部総務 加藤さん：右  
短期大学部部会執行部総務 木村さん：左



会計委員会  
熊坂佳保 会計委員長  
みなさんから預かった学友会費  
の資金管理を行っています。

各部部会執行部の幹部にお集まりいただき、  
 学友会の各学部部会の執行機関である執行部の活動の一端を  
 話してもらった。  
 写真は、一番きれいな"タンシツ"で撮影しました。



### なるほど、冊子とかも発行しているよね？

**中野** はい、"ブンシツ"では『bits』という冊子を春と秋に発行しています。企画・編集などなど全部自分たちでやります。  
**宗田** "ホウシツ"は、やはり春と秋の年二回、学内向けの小冊子『es』を発行しています。春は新入生向け、秋はゼミの紹介を中心として、他にも様々な特集を組んでお届けしています。  
**加藤** "ケイシツ"も春の新歓用に『Seijo Walker』という冊子を、ゼミナール大会用に『DEEPER』を発行しています。

"タンシツ"は、先輩が卒業してしまった今、  
 総務の木村さん一人頑張っているのだけど…。

**木村** はい、正直一人は淋しいです。  
 でも、他の執行部とも仲がいいし、大丈夫ですよ。  
**みんな** 頑張れ！

**木村** "タンシツ"の主な仕事は、卒業年次の学生全員に成城での思い出など書いてもらった簡単なメッセージと先生方に書いていただいた饒の言葉を編集し卒業生への記念品として配布する『銀杏』の発行と、真珠で有名なMIKIMOTOさんのご協力により、成城大学カレッジリングを考案・販売することです。  
**宗田** 今年度は、"タンシツ"の部屋に、社会イノベーション学部部会準備委員会が同居してもらって、"タンシツ"が担当しているカレッジリングの業務や備品などの財産を、"イノシツ"(?)に引き継いでいくことになっています。

**木村** はい。一緒にやりましょう！

最後に、総務会議長の宗田君からひとことお願いします。

**宗田** 今年度は、僕らが慣れ親しんできた3号館半地下の"長屋"と呼んでいる部室がなくなります。3号館自体が建替えられることになるので仕方がないことなのですが、9月には仮設校舎が中庭に建ち、その1階に引越すこととなります。四大戦は当番校ですし、学祭の場所の確保も危ぶまれます。成城大学のイノベーションの過渡期とはいえ、そこで生活し学んでいる僕ら学生はいるわけですから、その厳しい状況が予想される中で、いかに工夫し解決できる不満・不具合を一つ一つ拾い上げ、少しでも学生生活を改善していけたらと思います。それには、僕らも一生懸命考えるけど、みなさんの要望・意見・疑問・アイデアもどんどん寄せてもらえたらと思います。直接部室に来てくれてもいいし、学生食堂などにある要望書受付BOXに要望を入れてくれてもいいし、「成城大学学友会ホームページ」(<http://www4.ocv.ne.jp>)からメールしてくださっても結構です。みんなの意見をまとめて大学側に伝え、可能な限り叶えていきたいと思っています。

あと、社会イノベーション学部部会執行部を発足させる準備委員会(※)の部員を募集します。社会イノベーション学部の新入生の方！一緒に"イノシツ"を作り上げましょう！

### 平成17年度総務会メンバー

総務会議長兼法学部部会執行委員会総務	宗田 祐輝
総務会副議長兼文芸学部部会執行部総務	中野 聖子
経済学部部会執行部 総務	加藤 陽子
経済学部部会執行部 副総務	中嶋 智洋
文芸学部部会執行部 副総務	西河 瞬
法学部部会執行委員会副総務	奈良 良平
短期大学部部会執行部 総務	木村あゆみ
文化部連合 総務	渋谷 新吾
文化部連合 副総務	佐藤 裕之
文化部連合 副総務	野内 隆明
体育部連合会 委員長	竹内 信年
体育部連合会 副委員長	田中 絵梨
体育部連合会 副委員長	辻本 尚平

### 部員を募集して活動する団体

<u>執行部</u>	経済学部部会執行部 文芸学部部会執行部 法学部部会執行委員会 短期大学部部会執行部 ※社会イノベーション学部部会準備委員会
------------	---

<u>経済学部部会所属研究団体</u>	会計学研究会
---------------------	--------

<u>文芸学部部会所属研究団体</u>	民俗学研究会 音楽研究会 ミステリークラブ 歴史研究会 文学研究会 ヨーロッパ文化研究会 マスコミ研究会
---------------------	--

<u>法学部部会所属研究団体</u>	司法試験勉強会 雄弁会
--------------------	----------------

<u>連合組織</u>	文化部連合所属 31団体 体育部連合会所属38団体
-------------	------------------------------

<u>特別機関</u>	厚生部 放送部 新聞会 応援団 (リーダー部/チアリーダー部)
-------------	--

<u>専門局</u>	照明局
------------	-----

<u>特別委員会</u>	大学祭実行委員会 卒業アルバム委員会 卒業記念パーティー実行委員会
--------------	---



# 《体育部連合会》 スポーツしようよ！



第50代体育部連合会本部委員長  
四大戦実行委員会式典局局长  
サッカー部 竹内 信年（文4）

ユニフォーム紹介  
スタート！



まず、委員長の竹内君に、新入生の参考になるように、部活を選んだ理由と、その結果どうなのかということ振り返って教えてもらいたいんだけど…。

## 部活を選んだ理由ですか？

サッカーが好きだから。単純に好きだから。

サッカーをやるならちゃんとやりたいと思ったから体連のサッカー部に入りました。

**正直楽しいです。** 僕、もともと小中と友達が多くて、高校でも多くて、楽しくやっていたんです。大学に入って、サッカー部に入って、体連本部員にもなって、どんどん友達が広がっていったんですよ。本当に今、大学で楽しくて、地元に戻っても楽しくて、だから絶対部活に入った方がいいと思います。高校までやっていたスポーツでもいいし、あ、文化系でもいいと思いますけど、僕は体連だから、できるならスポーツでお願いしたい。大学には、高校までにはなかった種類のスポーツにも出会えるので、自分にあったものを積極的に探して、そして是非入部してほしいと思います。

では、いま、新入生に一番伝えたいことは？

## 全員 文体連オリエンテーションに絶対来て欲しい！

**木村** あ、文体連オリエンテーションというのは、入学式を行った五十周年記念講堂で体育部連合会と文化部連合に所属している団体が、次々に出てきて広い舞台の上で自分たちの部活をアピールするイベントです。

**田中** 全部がいっぺんに見られるし、部活の雰囲気もものすごく出るから、部活を選ぶのに、ものすごく役立つと思う。

**坪井** 照明や音響も半端じゃなくすごくて、次から次へといろんなことが起こるから、新入生のときはビックリした。

**木村** なんか、成城らしいよね。

**小宮山** 部活のこともわかるけど、大学の楽しみ方もわかってくると思う。

**辻本** あ、あと、部活をやってる姿を実際に見に来てくれればなと思う。

**全員** うん。（うなずく）

**辻本** グランドとか体育館とか道場とか、うちらを見に来てほしい。朝練しかない部活とかもあるし、遠いグランドや道場、屋上が練習場所のところもあるけど、体連が出している冊子「GET」の情報を見て、成城を探検するつもりで、地図を片手に見学しにきてくれたらなと思う。

**中原** 大学体育館の中にフロアが3つもあるから、4月中は案内も出したりしてるし、

**竹内** 気軽に見て回ってほしい。4月中は、声もかけるんで、よろしく！

**小山内** 怖がらないでね！（笑） みんなからも声をかけてくれたら嬉しいですよ！

**全員** 待っています！！ スポーツしよう！



伊勢原宿所で行われた、新年度を迎えるための体育部連合会本部の本部員合宿にお邪魔して、新入生へ向けてのアピールなど、伝えたいことを聞いてきました。



**さてと、小宮山君。第56代四大学運動競技大会実行委員長の小宮山君！  
今年は、成城大学が四大戦の当番校なのだけど、勝つための秘策は？**

秘策と言っても、スポーツですから、特効薬はないんですけど、前年度は正式種目も一般種目も教職員種目もすべて4位でしたから、もう去年の四大戦が終わった時から日頃の練習を励みつつ、いろいろ考えてはいるんですよ。もちろん秘密ですが、とにかく総合優勝に一歩でも近づくためには、僕らの正式種目が頑張らないといけないから、練習を充実させるとともに、体連をアピールして、新入生に部活に入ってもらいたいと思います。

**当番校としての抱負は？** 当番校としてというより、まず、みんなにもっと四大戦の存在を知ってもらうことが必要だと思うんです。4年に1度のホームゲームなわけですから、10月21日～23日の本戦はもちろんのこと、6月に伊勢原総合グラウンドで行う正式種目集中デイにも、たくさん応援に来てもらえるよう、ムードを盛り上げていきたいと思ひます。どうすれば盛り上げられるか、盛り上がってもらえるか、今模索中なんですけど、とにかく興味を持ってもらいたいです。また、4月から一般種目の学内予選が始まります。体連の部活に入らなくても、一般種目には参加できますので、是非、エントリーしてほしいです。

とはいえ当番校ですから、全体の運営も僕たちの大事な仕事なんです。他の三大学をお迎えするホスト校として、一般学生も巻き込んで、良い雰囲気を作っていきたいと思ひます。ただ、今年度から校舎建てかえが始まり、6月には中庭に仮設校舎が建ったりと計画が立てにくい状況にあります。いろんな方の力を借りて、学友会全体・一般学生、そして学生部を中心とした教職員の方々と共に四大戦を成功させていきたいです。

**四大戦とは四大学運動競技大会の略称**  
旧制7年生高等学校当時より、同じような学風を持つ学習院大学・成蹊大学・武蔵大学と本学の4大学の体育会が中心となり、スポーツを通じて各校の親善交流を促進することを目的として行っている大会です。競技は、各校の体育会所属団体が競い合う正式種目、学内予選を勝ち抜いた一般学生が競う一般種目そして教職員種目の3種類があります。

**一般種目**  
硬式・軟式庭球(男・女・混)、卓球(男・女・混)、サッカー、軟式野球、ソフトボール(男・女)、バスケットボール(男・女)、バドミントン(男・女)、バレーボール(男・女)

**教職員種目**  
硬式庭球、ソフトボール、バレーボール

**四大戦速報！  
スキ一部女子優勝**



回転・大回転優勝  
武内千賀子さん



体育部連合会本部四大戦推進局局长  
第56代四大学運動競技大会  
実行委員長  
硬式野球部 小宮山 信吾(経4)

**ゴール！**

リーダーズ・サミットに出席した部活の幹部がモデルです。



**体育部連合会(以下体連)および四大学運動競技大会実行委員会(以下四大戦)役職者一覧**

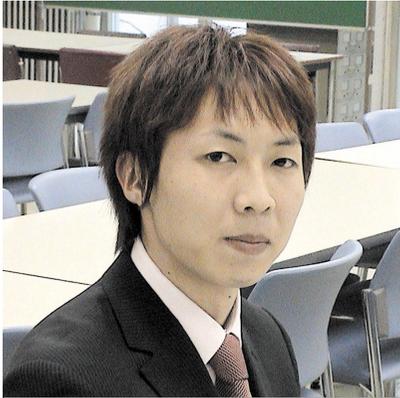
- |                       |        |
|-----------------------|--------|
| 四大戦実行委員長・体連四大戦推進局局长   | 小宮山 信吾 |
| 四大戦運営局局长・体連四大戦推進局局长   | 木村 紀子  |
| 四大戦式典局局长・体連委員長        | 竹内 信年  |
| 四大戦記録局局长・体連副委員長       | 田中 絵梨  |
| 四大戦総務局局长兼駅伝局局长・体連副委員長 | 辻本 尚平  |
| 四大戦厚生局局长・体連委員長補佐      | 坪井 巨樹  |
| 四大戦財務局局长・体連財務局局长      | 中原 克嘉  |
| 四大戦情報宣伝局局长・体連広報局局长    | 上野 綾子  |
| 四大戦厚生局局长員・体連事務渉外局局长   | 小山内 渡里 |



体連本部で四大戦会議



# 《文化部連合》 バリエーション豊富な文連です。



渋澤新吾 総務 釣部所属。  
ひょんなことから文化部で「一番えらいとされてる人」に。大の広島ファンで、前田4番説を提唱。

映画に音楽、ダンスに伝統芸能。全部で31個もあって、バリエーション豊富な文化部全体の「総元締め」が、この渋澤新吾くん。

いろいろ大変そうだけど？

「いや、各団体の部長さんと、だんだん友達っぽく話せるようになったときとか、なんか楽しい気分ですね。」

楽しいといえば、こんなことも考えているようだ。

「楽しい部活だったら自然と人って集まると思うんですよ。そうするために部長さんとかが部活をどうリードしていったらいいか、一緒に考えていきたいですね。」

今年は校舎建て替えとか、苦難が予想されるけど？

「あ、それは頭痛いです。学友会全体の問題ですが、今までどおりということが許されないし、引っ越しもあるし、頑強いと乗り越えられないと思うんですよ。今までをちゃんと分析しておかないといけませんね。」

あとは、頼んだよ！

「え、あ、頑張ります。」

「何かね、大学ってなんか打ち込めることがあった方がいいですよ。その選択肢の中に部活があって、それが文化部だったらなおイかな、と」

そう語るのは、文化部連合の「2番手」、佐藤裕之くん。

「あ、文体連オリエンテーション、見に来た方がいいですよ。おすすめですよ。楽しいうえに、部活が選べるんだから。」

はい。で、文連本部では、具体的にどんなことをしているのだろう。

「文連って、いろんな部活の引き立て役。みんなが活動しやすいように機材を貸したりとか、いろんな説明をしたりとか。まっ、キレイ事ですけど（笑）」



佐藤裕之 副総務 華道部所属。  
大学祭実行委員にも兼部していて、お祭り好きかと思いきや人見知り。そのうえダメガネ。



文化部連合にいと、色々なひとに声をかけられる。時に、知らない人にまで声を掛けられるときも。

「いや、自分結構目立ちたがりなんで、けっこう嬉しいっすよ」

と、語るのもうひとりの「2番手」、野内隆明くん。

道で見かけたら、声をかけてあげよう。

きっと伏し目がちに会釈するだけのはず。だって、ホントはシャイだから。

野内隆明 副総務 落語研究会所属。

OGに、「どうせ脱ぐならもっと鍛えてからにしたら？」と言われる。こいつもダメガネ。

昨年度の文連総務の向 風見也君が、バトンタッチした新年度の幹部を取材し、文連の雰囲気伝えてくれた。



小野寺彩さんの仕事は会計局長。各文化部に予算の配分をするのが主な仕事だ。お金が関係することには、難しいルールがたくさんある。それをわかりやすく説明するのが大変みたいだ。

**新入生へのアドバイスを。**

「大学って、生活のリズムを作るのが難しいと思う。とくに新しい環境の中で、友達のこことかもあるし。部活に入ったほうが友達もできるし、生活にリズムが出ますよ。」

**できれば文化部に入ってくれると嬉しいんだよね。**

「そういうことです。」



小野寺 彩 会計局長  
華道部所属。

高校は、あの広末〇子と同じS女子学園。  
「結構頭 अच्छайですよ。」

横山亜季菜さんは、よく喋るし、よく笑う。そんで、よく働く。

「だって、大学って、時間いっぱいあるし、休みも長いし、何もしてないと勿体ないじゃないですか。あっ、私5時からバイトなんですよ。これ（取材）、早めにやっちゃってくださいよー」

文連でも、ちゃきちゃき働く。

**今年の企画は？**

「6月に、合同ライブやるんですよ。バンド系の3つの団体、アメリカ民謡研究会・ギター部・軽音楽部同士でやるんです。何でかって？やってるこっちが楽しいからかな。自分たちが楽しくなくちゃ、お客さんも楽しくないじゃないですか。」

**ちゃきちゃき楽しい企画を生み出していくことを期待する。**



横山亜季菜 企画局長  
軽音楽部所属。

テレアポに電気屋さん、多くのバイトを掛け持ち。学校が休みの時期は、かなり稼ぐそう。

## 文化部連合所属団体

- アメリカ民謡研究会  
E.S.S.
- 映画研究部
- 演劇部
- 合唱団
- 華道部
- ギター部
- 狂言研究会
- 軽音楽部
- 広告研究会
- 古美術鑑賞会
- サイクリングクラブ
- 茶道部
- 写真部
- 商業英語研究部
- 成城ボランティア部
- 生物部
- ダンス部
- 釣部
- 天文研究会
- 美術部
- 文芸部
- 漫画研究会
- 落語研究会
- 旅行部
- レストロ・アルモニコ管弦楽団
- 映像シナリオ研究会
- 将棋愛好会
- 書道愛好会
- STUDENT BIBLE
- 能楽愛好会



文連リーダーサミット後  
最初の大きな行事を終えてほっと一息

## 厚生部

### 「厚く生きてはみませんか？」

どうもこんにちは！！学生会厚生部です。私達は、現在32名でわきあいあいと活動しています。しかし、「厚生部」と聞いても、何をやる部活なのかピンとこない方も多でしょう。そこで今回は、厚生部の活動内容を皆さんにお知らせしたいと思います。

まず、厚生部ではアルバイト・下宿の受付と斡旋を主な業務としています。毎年2月下旬から3月上旬にかけて、新入生を対象とした下宿紹介を開催していますので、参加された方もいるのではないのでしょうか？

また、成城大学一般入試にも大きく関わっています。入試当日、校門や掲示板の前にいる人、各号館の入り口で受験票のチェックをしている人etc…は、私達です。入試を成功させるために部員一丸となって入念に準備をしますので、無事終了した時の喜びと達成感はなんともいえません。次の入試が待ち遠しいほどです。

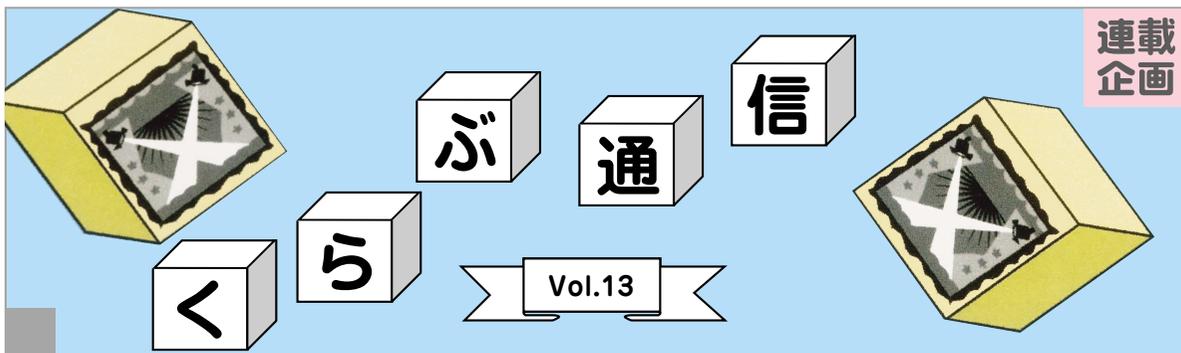
他にも、入学式でのプラカード持ちやオープンキャンパスなども行なっています。つまり、普通の大学生では味わえないことを味わえるのが厚生部なのです！社会に出てから必要とされる言葉遣いなども身に付けることができ、その上学生の皆さんの笑顔を見ることがもできますので、学生生活を充実させたい方にはもってこいの部活だと思います。

皆さんも、私達と一緒に活動してみませんか？少しでも興味を持たれた方は、気軽に学食棟地下学生喫茶室横の部室を覗いてみて下さい。部員一同いつでもお待ちしております。もちろん、アルバイトや下宿物件を見てみたいという方も、気軽に窓を叩いて下さいね！心を込めて対応させていただきます。それではまたお会いしましょう！！

会計：黒川瑠美（文3 E）



「厚生部に入ってね！」（入試業務終了後）



広大な自然、大山をバックに。  
(伊勢原の馬場にて)



みんなで頑張った引退試合  
(馬事公苑で)

## 馬術部

### 「伊勢原の馬場に来て下さい！」

こんにちは。馬術部です。大学生活でしか経験できないことしてみませんか？「馬」というとお金がかかるというイメージがありますが、我が部では月3000円という安い費用で馬に乗ることができます。乗馬クラブで乗ると安くても一鞍5000円はかかってしまいます。馬は馴染みのない動物だと思いますが、伊勢原の広い自然の中で馬に乗るという気持ち良さや面白さにはまること間違いなしです。

馬術は生きものと一緒に競技する唯一のスポーツです。もちろん生きものを扱っているわけですから、世話がかかることも、大変なこともあります。しかしそれは他の部の人とは違う人生の財産ができ、自分自身も大きく成長でき、命の大切さも学べると思います。

現在の部員は全員大学から始めた人ばかりです。馬術部の良さは実際伊勢原の馬場に足を運んで馬に会ってみるとわかると思います。

入部、試乗会も随時行っています。少しでも興味がある方は気軽にいらして下さい。お待ちしております。

主将：小城 和夏子（文4 C）



アイトル馬「錆色」と  
伊勢原の馬場へ



## 学んで、思いて、 学生生活は、緑なり

めーあ・りひと



法学部助教授 原田 剛（民法）

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。入試のシーズンに訪れたキャンパスは、冬ざれた光景とともに、少し震えていたようでした。そこをくぐりぬけ、全国各地から集まったみなさんは、いまや、いさぎよい爛漫のさくらに迎えられました。これから4年間、この成城キャンパスでいろいろなことを学んでいくみなさんに、ひとことお祝いのことばを贈りたいと思います。

みなさんはさまざまな思いを胸に大学に入学されたわけですが、その核は、なによりも学ぶことにあるはずですが、したがって、大学での学びは、どの分野においても、まず、これまで先人により築き上げられてきた体系的な知識を獲得することにあります。しかし、このような意味での学びは、単に教員の講義があるから、というものであっては充分ではなく、そこには、何がしかの問題意識がなければなりません。みなさんのなかにある、自分自身の問題意識についてよく考えること、これが思うことです。この思いは、学びの動機にもなります。これがないと、ものごとを真に理解することはできないでしょう。問題意識から自分自身で問いを立て、その問いを解くために知識を獲得する、獲得した知識を知的道具に転化させ、これを使って問いを解こうとする営みこそが、学生生活の主たるものにならなければならないでしょう。すでに過去において存在する客観的な知識を、主観的かつ未だ解かれてはいないものの、未来において解かれる可能性のある問いに媒介する者こそが、学生生活を営む現在のみなさん自身なのです。高校までの学習とどの点が共通し、どの点に新らしさがあるか、想像に難くないと思います。こうした営みにより、問いが解けたときにはじめて、みなさんは、ものごとを真に理解したということになります。ある著名な学者によれば、ものごとを理解するとは、それによって、いままでの自分が変わることを意味します。まことに的を射た定義であると思います。

そして、以上のような学びのために必要なものとして、一つだけ、言葉の問題を挙げておきましょう。わたしたちは、複雑な知識、思想や考えを理解し、指示するために記号体系を使うわけですが、その際の重要な記号体系が言葉です。知識を獲得したり考えたりするのも、わたしたちは多く、言葉に依拠しています。このような営みがスムーズにおこなわれうるためにも、みなさんは、ことばのもつ、指示機能（デノテーション）と連想喚起機能（コノテーション）という二つの機能に注目しつつ、今までより、もっともっと言葉に敏感になってください。

このようにして、みなさんは、学生生活4年間のあいだに、どれだけ変わることができるでしょうか。このことこそが、みなさんの学生生活の充実度を質的に表現するものとなることは、間違いないと思います。「めーあ・りひと」と言った、みなさんよくご存知のドイツの文豪の作品には、メフィストをして、「すべての理論は灰色で、緑なのは生の黄金の樹だけだ」と言わしめ、研究室を訪れた学生を追い帰してしまう場面が描かれています。しかし、自身の問題意識から問いを立て、言葉を主たる道具として獲得した知識（理論）を更なる道具に転化させ、その問いを解くという、みなさんの学びのダイナミズムこそは、みなさんをどんどん変化させていき、まさに学生生活を、生の黄金の樹たらしめるものであり、それゆえにまた、紛れもない緑なのです。成城大学のキャンパスには、そのあちらこちらに、学んで思い、思いで学び、自己変革を遂げていくみなさんの学生生活を緑たらしめんとするさまざまな支援の仕掛けがあります。みなさんの学生生活の緑を心から期待し、祈念しています。



新入生の皆さんへ

めーあ・りひと

“初頭努力”に期待して



短期大学部部长 西居 淳子 (臨床・社会心理学)

新学期の雰囲気というのはなかなかいいものだと思う。大学全体にどことなく張りがあり、新学期を4月からとしている所では、再生や成長を意味する春のイメージと重なって高揚感すら感じられる。とりわけ今年の成城の新学期には、短期大学の女子新入生がおらず、替わって社会イノベーション学部の新入生が増えているので、おのずからこれまでとひと味違う雰囲気への期待感も加わっている。

ところで、我々には何ごとによらずものごとの始まりと終わりへの思い入れがある。始めが肝心とも言われ、終わりよければすべてよしとも言いが、二つをうまくやり遂げることに大いなる意味を見出している。心理学の領域では、それに対応させて、初頭努力と終末努力というものを問題にする。たとえば、所定の時間内の単純作業では、初頭努力の結果、最初は作業量が多く、その後低下するが、作業終了近くでは終末努力によって再び上昇に転ずるとというのが一般的パターンである。よく知られた内田クレペリン精神作業検査（一桁の数字の連続加算法）では、この作業量の変動を描く作業曲線が人間の性格をあらわすものと判断され、特に初頭効果の欠如、すなわち、作業開始に当たった意志緊張によるスタートダッシュ現象が見られないのは、ある種の精神疾患と見られている。ありていに言えば、物事の最初と最後には通常ならば誰でもがんばるものだと考えられている。また、そう期待されているのである。

大学生生活を単純作業の流れにたとえるわけではないが、やはり4年間の大学生活の始まりには、いわゆる初頭努力によって大いなる成果を挙げていただきたい。新入生にすれば、大学に期待していることの方が大きくて、何に關しての初頭努力なのだとか疑問に思うかも知れない。しかし、これまでの受け身的な行動パターンで大学に期待しても、何も始まらないし何も起こらないことだけは確かだろう。少々突き放した言い方をすれば、大学は、制度という枠の中で一定のカリキュラムと教授陣と学業の場を用意して、あなた方を待っているだけなのである。大学生活の方向づけはあなた方自身でやらなければならないのだ。

大学時代の目的は自己形成だと言われるが、いかにして自己形成をおこなうのか、その方向づけの手がかりはまだないかも知れない。しかし、自分がまだ何をやりたいのかわからなくてもいい。ただ、怖れずに、思い切ってこれまでの行動パターンを変えればよいのである。よく目を見開いて自分の周囲に何があるかを確かめ、よいものがあれば逃さずにキャッチしていただきたい。そうすれば、きっと何かに出会えるはずである。学問か人か課外の活動か。その出会いを探すことに一所懸命になっていただきたい。それが、私のいう初頭努力である。ただし、その時何を選択するか、その一つひとつの決定がすべてあなたの自己形成に繋がっていくのだということを忘れずに。

幾年前に、「チーズはどこへ消えた？」という書物が話題になったことがあった。チーズとは、私たちが人生で求めるもののことだが、チーズは決して消えはしない。思い通りには行かないかも知れないが、失望せずに状況の変化に対応していけば、必ずどこかで見つけることができるという現代の寓話である。してみると、大学生活でのチーズもまた、必ずや見つかるはずとっていただろう。そのためには、大学への失望を結論としないで、無気力になったり諦めたりせず、初頭努力を続けていくことが肝心なのだと思う。新学期が始まるにあたっては、まず我々があなた方に期待している次第である。



## 2005年度 クラス担任・学生委員等一覧表

本学では、クラスごとの担任、学生委員など、教員と学生とのふれ合いを第一の目的とした学生担当制度があります。どのようなことでもクラス担任・学生委員等に気軽に相談してください。

また、2年次以降も、ゼミナール・基礎演習・専門演習などの担当教員から指導・助言を受けることができます。

経済学部		
学年組		担任
1	A	木下 直也 教授
	B	山重 芳子 助教授
	C	田中 誠一 教授
	D	中條屋 進 教授
	E	中村 理香 助教授
	F	花井 清人 教授
	G	海保 英孝 教授
	H	上田 晋一 助教授
	I	牧野 陽子 教授
	J	岩本 修巳 教授
	K	渡邊 由陽 教授
	L	相原 章 助教授
2		
3	全	ゼミナール担当者(※)
4		
※ゼミナールを履修していない学生は、学科主任 経済学科 杉本 義行 教授 経営学科 岩崎 尚人 教授		

文芸学部		
学年組		担任
1	A	池田 一彦 教授
	B	松川 祐子 助教授
	C	石鍋 真澄 教授
	D	松崎 憲三 教授
	E	森 暢平 専任講師
	F	林田 伸一 教授
2	A	宮崎 修多 教授
	B	鶴見 良次 教授
	C	相澤 正彦 教授
	D	小島 孝夫 助教授
	E	堀内 圭子 助教授
	F	一之瀬正興 教授
3	A	枋尾 武 教授
	B	青木 健 教授
	C	木村 建哉 専任講師
	D	篠川 賢 教授
	E	古田 尚輝 教授
	F	有田 英也 教授
4	A	上野 英二 教授
	B	窪田三喜夫 教授
	C	清水 真澄 教授
	D	小田 亮 教授
	E	奥田 秀宇 教授
	F	高木 昌史 教授

法学部		
学年組		担任
1	学生委員	太田 晋 助教授 永井 典克 助教授 平野 篤司 教授 原田 剛 助教授
	2 全	基礎演習担当者
	3	専門演習担当者(※)
	4	
※専門演習を履修していない学生の担当者 辻 陽一 教授・井上 明 教授		

社会イノベーション学部		
学年組		担任
1	学生委員	大家 亮子 教授 斎藤 忠志 教授 手塚 公登 教授 平井 正子 教授 村田 裕志 教授

短期大学部		
学年組		担任
2	A	山田 直巳 教授
	B	平井 正子 教授
	C	斎藤 忠志 教授
	D	小澤 正人 助教授
	E	村田 裕志 教授
専攻科	早川 基 助教授	

### ■ 社会イノベーション学部のオフィスアワーについて

社会イノベーション学部では、教員が週のある曜日・時間を決めて研究室に在室し、学生はその時間帯に自由に教員を訪ね、質問・相談できるオフィスアワー制度を設けています。各教員のオフィスアワーは、『パンフレット成城』69頁とホームページに掲載しています。

なお、オフィスアワー以外の時間帯でも質問・相談はできます。その場合は、あらかじめ予約をとっておいた方がよいでしょう。



## 各部の主な業務紹介

学生部：学生の生活全般、課外活動、健康管理等のサービスを行う機関

- 学生課：3号館1階 03-3482-9081
- 学生会その他学生の自治活動の助言・指導および育成に関すること
  - 学生の集会、出版物、掲示、行事に関すること
  - 部室・課外活動教室の管理に関すること
  - 学生証、通学証明書、学割証等の発行に関すること
  - 転部・転学科・休学・退学等に関すること
  - 住所変更および身上異動に関すること
  - 欠席に関すること（忌引、病気・けが等による7日以上欠席）
  - 学生教育研究災害傷害保険に関すること
  - 奨学金に関すること
  - 下宿・アルバイトの斡旋に関すること
  - 遺失物・拾得物、盗難被害に関すること
  - 授業料等納付金に関すること
  - 自転車通学に関する事および自動車通学特別許可に関すること
  - ビラ配布・ポスター掲示等の届出に関すること
  - 成城大学トレーニングセンターに関すること

- 学生相談室：3号館1階 03-3482-9086
- 相談活動（学生生活を送る中で出会うさまざまな問題に関する相談、性格検査等）
  - 学生登録票に関すること
  - アンケート調査等に関すること

- 保健室：3号館1階 03-3482-9085
- 健康管理に関すること（定期健康診断）
  - 健康相談
  - 応急医療処置
- 学生部よりお知らせ
- 定期健康診断（問い合わせは保健室）
- 日程 4月15日、4月18日～21日  
 午前の部：男子… 9：30～12：30  
 午後の部：女子…13：30～16：30
- 場所 五十周年記念講堂  
 内容 胸部レントゲン撮影、検尿、身長・体重測定
- 自転車通学を希望する場合（年度ごとに申請）
- 学生部で登録申請を行い「登録ステッカー」を受取り自転車本体の目立つ位置に貼付。（指定の駐輪場に駐輪）

就職部：就職指導・斡旋に関するサービス機関

- 就職課：3号館1階 03-3482-9063
- 就職指導・斡旋に関すること（相談・各種ガイダンスの実施）
  - 求人に関すること（求人受付・開拓）
  - 学内選考に関すること
  - 就職活動に必要な各証明書の受付
  - 就職資料室に関すること（資料の収集・管理）
  - 卒業年次生の進路登録に関すること

### 大学事務取扱時間

月～金曜日 8：30～16：30  
 土曜日 8：30～13：00

※日曜日、国民の祝日、年末年始、夏季一斉休業  
 期間は業務を行いません。  
 その他変更がある場合は、掲示・Campus Square for Webでお知らせします。

教務部：学生の教学に関するサービス機関

- 教務課：1号館1階 03-3482-9045
- 授業に関すること
  - 履修登録の受付、履修相談および指導
  - ゼミナール（演習）届、コース申請の受付
  - 履修の手引・シラバス、授業時間割の作成
  - 卒業論文に関すること
  - 休講等の掲示、授業教室使用の管理
  - 学長賞懸賞論文に関すること
  - 聴講生等の取り扱い業務
  - 公開講座に関すること

- 学務課：1号館1階 03-3482-9054
- 学業成績に関すること
  - 教職課程に関すること
  - 学芸員課程に関すること
  - 学内試験およびレポートに関すること
  - 証明書等の発行に関すること

- 教務部よりお知らせ
- 履修相談開催
- 日時 4月6日（水）～8日（金） 16：30～18：00  
 場所 731教室（7号館3階）

入試広報部：入学試験に関する業務および学生募集に関する広報活動を行う機関

- 入試広報課：1号館1階 03-3482-9100
- 入学試験の実施に関すること——学部、大学院、専攻科、編入学、学士入学、推薦入学、AO入試等
  - 学生募集に関すること——大学案内、入試要項の作成・頒布
  - 入試広報活動に関すること——オープンキャンパスの企画・実施、各種進学相談会の企画・実施

## 「Campus Square for Web (キャンパス・スクエア・フォー・ウェブ)」について

Campus Square for Web は、学生生活に必要な情報等をインターネットから閲覧・登録できるシステムです。

### ●アクセスURL (アドレス)

<https://cs.seijo.ac.jp/>

大学ホームページ (キャンパスガイド-在学生向け情報-) 内  
「Campus Square for Web」リンクからもアクセスできます。

### ●Campus Square for Web で利用できる情報

学籍情報：大学に登録されているあなたの情報です。  
履修状況：履修登録完了後から  
休講・補講情報：履修登録完了後から  
就職関連情報  
お知らせ掲示：インターネット版お知らせ掲示です。

※緊急の場合など、全てのお知らせが掲載されるとは限りません。  
必ず学内掲示板を確認するようにしてください。

※詳しくは「パンフレット成城」24～26頁参照

## 日本学生支援機構の奨学金について

日本学生支援機構は、総合的に学生支援を実施するために設立された国の機関です。旧「日本育英会」の事業を承継し、大学で選考・推薦手続きを経て、奨学金を採用者に貸与する機関で、代表的な奨学金です。希望者は必ず説明会に出席してください。

### ●奨学金出願者説明会：説明会に出席しないと出願できません。

対象：大学・短期大学部生 日時：4月13日(水) 18時～  
場所：003教室 (3号館地下)

対象：大学院 日時：4月14日(木) 18時～  
場所：321教室 (3号館2階)

### ●予約進学者説明会：説明会に出席しないと貸与が受けられません。

対象：予約進学者…高等学校在学時に、奨学生採用候補者に決定している者。

日時：4月12日(火) 18時～  
場所：321教室 (3号館2階)

※詳しくは「パンフレット成城」32～33頁参照 【学生部】

## 第26回 学長賞懸賞論文の募集について

学長賞懸賞論文は、本学学生の勉学意欲を振起することを目的として、1980年度から始められました。審査の結果、優秀作品と認められたものには、最優秀賞、優秀賞、奨励賞をそれぞれ贈り、入賞者には賞状および副賞(最優秀賞15万円、優秀賞10万円、奨励賞5万円)が授与されます。

本年度の応募要領(論題、応募規定、論文提出期間等)については、5月下旬にあらためて掲示板およびホームページにて発表します。 【教務部】

## 平成17年度学事・行事暦

4月	5日(火)	入学式
	5日(火)	新入生オリエンテーション
	～9日(土)	ガイダンス等 (8～10頁参照)
	6日(水)	履修の手引・シラバス等の配付
	～9日(土)	(2年生以上)
	8日(金)	履修登録期間 (web登録)
	～21日(木)	社会イノベーション学部
	11日(月)	前期授業開始
	14日(木)	文・体連オリエンテーション
	15日(金)	定期健康診断
	18日(月)～21日(木)	定期健康診断
	18日(月)	履修登録期間
	～22日(金)	(経・文・法・短・院)
5月	5日(木)	創立記念日
6月	19日(日)	オープンキャンパス
7月	15日(金)	前期授業終了
	16日(土)～27日(水)	学期末定期試験
	28日(木)	夏季休暇開始
	30日(土)	オープンキャンパス
	31日(日)	オープンキャンパス
8月	27日(土)	オープンキャンパス
9月	23日(金)	夏季休暇終了
	9月 24日(土)	後期授業開始

## サービス施設の前期の予定日

### 図書館

月～金曜日 9:00～20:00

土曜日 9:00～16:00

※開講期間の開館時間

情報センターオープン利用ルーム：3号館地下

月～金曜日 9:00～19:00

土曜日 9:00～13:00

トレーニングセンター (4/11～7/15)

月～金曜日 10:00～20:00

土曜日 10:00～17:30

※4/9までと、7/16以後は、月～土の開館時間は10:00～17:30

※いずれも受付は終了時間の30分前まで

※臨時の開館日・閉室日等は、掲示やホームページでお知らせします。

## 成城大学ホームページ

URL <http://www.seijo.ac.jp>



## 主な関係部署の電話番号

大学 ・ 短期 大学 部 関 係	教務部	教務課	03-3482-9045
		学務課	03-3482-9054
	学生部	学生課	03-3482-9081
		学生相談室	03-3482-9086
		大学保健室	03-3482-9085
		トレーニングセンター	03-3482-5790
	就職部		03-3482-9063
	大学図書館		03-3482-3555
	情報センター		03-3482-2165
	LLセンター		03-3482-9016
国際 交流 室	国際交流室		03-3482-9020
	総務課		03-3482-2101
	管理課		03-3482-9239
	入試広報部		03-3482-9100
	学 園 関 係	会計課	
管財課			03-3482-1409
学園正門案内所			03-3482-1452
伊勢原総合カウント			0463-93-0771

## 編集後記

●「百千鳥(ももちどり)轉る春は、物毎(ものごと)に新たまる」(古今集)と謳われる春は、季節の始まりであると同時に、始まりの季節でもある。成城でも、新学部が発足するとともに、新しく成城生となる新入生を迎えて、新学年が始まる。今号には、この春新しいスタートを切る人の門出を祝う記事が並んだ。特に表紙の写真では、体連各部のリーダー諸君の笑顔が新入生を歓迎している。新入生の諸君には、この先輩達の熱い期待に答えて、ぜひ各部の部室を尋ねてほしい。昨年度の統計によれば、学生の課外活動への参加者は、文連・体連・学生会諸機関合わせて2824名、加入率は53%であった。15年度は46%、14年度は44%であったから、大幅増となった。嬉しい限りである。学生としての貴重な4年間で、日々の生活に流されるままとなってしまうのでは、あまりに淋しい。学生諸君には、何であれ、何か「これ」というものを早くつかんでほしい。大学には、各部の発表会・講演会もあれば、対外試合などイベントも数多い。文体連オリエンテーションを始め、大学祭・四大戦・伊勢原スポーツデー・6月祭・成城レガッタ等々、楽しい行事も君達を待っている。課外活動への扉は上級生の諸君にも無開閉されている。すべては、「小さな決断」から始まる。何もしなければ、いつまでたっても何も始まらない。学生部も先輩達も、みんなが君達の、その「小さな決断」を待望している。(学生部長 上野英二)

●「今度の学生生活の表紙は、みんなが“おめでとう！”って、言っていて、ホームページではクリックするとハリー・ポッターの写真みたいに動くといいなあ」と呟き続けたら、周囲の方々が力を貸してくださった。参加してくれた学生諸君！へたな動画をなんとかしてくださった情報センターのみなさん！静止画撮影のみささん！感謝です。是非、ホームページもご覧下さい。(R)

## 平成17年度主な人事移動

### 新任役職者

経済学部長	明石 茂生 教授
法学部長	今野 裕之 教授
社会イノベーション学部長	村本 孜 教授
短期大学部部长	西居 淳子 教授
就職部長	若松 良樹 教授
図書館長	浅井 良夫 教授
経済研究所長	小平 裕 教授

### 新任教員

経済学部	塘 誠 助教授
文芸学部	松川 祐子 助教授
	松田美作子 助教授
	森 暢平 専任講師
法学部	成田 博 教授
社会イノベーション学部	
	遠藤 健哉 助教授
	加藤 敦宣 助教授
	川村 晶彦 専任講師
	新垣 紀子 助教授
	都築 幸恵 教授
	D. リチエス 助教授
	野島 久雄 教授

### 文芸学部へ配置換え

石鍋 真澄 教授

### 社会イノベーション学部へ配置換え

大隈 宏 教授	平井 正子 教授
大家 亮子 教授	平井 康大 教授
小澤 正人 助教授	古川 良治 助教授
斎藤 忠志 教授	宮沢 栄次 教授
櫻井 一彦 教授	村田 裕志 教授
篠原 光伸 教授	村本 孜 教授
田中 陽子 教授	山田 直巳 教授
手塚 公登 教授	

(50音順)

## 平成17年度研修教員

経済学部	塚原 英敦 助教授 (全期)
	福光 寛 教授 (全期)
文芸学部	川上 善郎 教授 (全期)
	杉本 豊久 助教授 (全期)
	田中 宣一 教授 (全期)
	津上 英輔 教授 (後期)

～長期研修者のみ掲載～



## ～今号の表紙～

「新入生を歓迎する気持ちを表紙に表したい！」とたくさんの部活に声をかけた。2月の寒い日、新入生を待っているみんなの気持ちで、一瞬そこが「春」になった。

撮影：下村みさ (学生部)

## 学生生活 206号

発行日	平成17年4月5日
編集・発行	成城大学・成城大学短期大学部 学生部 〒157-8511 世田谷区成城6-1-20
編集責任者	上野
編集	高田・山本・栗本
印刷	株式会社 芳文社